

Canon

imageRUNNER

ADVANCE

C5051/C5051F/C5045/C5045F

C5035/C5035F/C5030/C5030F

設定の流れ



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

はじめに

このたびはキヤノン imageRUNNER ADVANCE C5051/C5051F、C5045/C5045F、C5035/C5035F、C5030/C5030Fをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。（なお、本書に記載の各機能の詳細な設定についてはe-マニュアルを参照してください。）また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書ではすべての製品名を総称する場合に、「imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045/C5035/C5030 シリーズ」と記載します。imageRUNNER ADVANCE C5051F/C5045F/C5035F/C5030Fは、スーパー G3FAX ボードが標準装備されており、本書の中では「Fモデル」と記載しています。

本書で参照先として記載している章やページは、特にお断りがない限り、すべてスタートガイドのものです。作業を行う際は、スタートガイドをお読みください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、下記のマークを使用しています。

 **メモ** 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

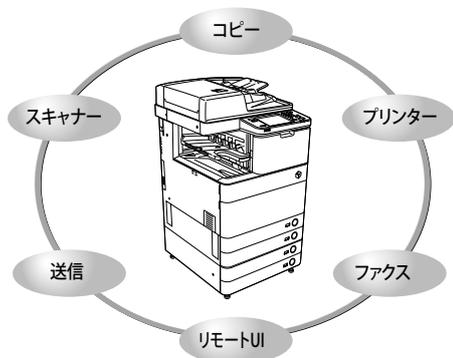
設定の流れ

本製品の主な機能と、設置後にご使用になる機能にあわせて行う作業、および設定の流れを説明しています。

imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045/C5035/C5030 シリーズのおもな機能.....	4
お使いになるために必要な作業	7
最初にご確認ください.....	7
本製品に管理者としてログインする	8
Eメール/Iファクスを使用する	9
データをファイルサーバーへ送信する.....	10
アドバンスドボックスを使用する	11
本製品から直接ファクス送信する	11
リモートファクスサーバー機を経由してファクス送受信する.....	11
コンピューターから本製品経由でファクス送信する	12
コンピューターから印刷する.....	13
本製品をスキャナーとして使用する	14
コンピューターから本製品を管理する.....	15

imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045/C5035/C5030 シリーズのおもな機能

カラーデジタル複合機に求められる多くの要素を実現しています。



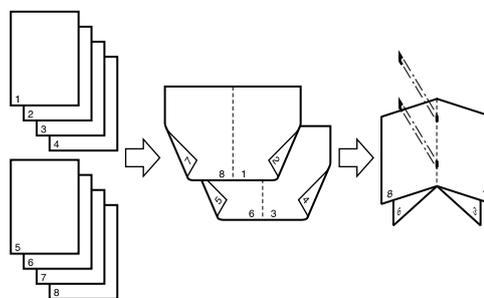
imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045/C5035/C5030 シリーズは、さまざまなドキュメントの入出力環境を効率化する機能を搭載しています。ご使用の環境やお客様のニーズに応じて機能を追加することによって、オフィスにおけるドキュメントワークを最適化できる、新発想のカラーデジタル複合機です。

*マークは、オプション装着時に使用できる機能です。各機能に必要なオプション製品については「最初にご確認ください」(→本ガイド P.7) を参照してください。

コピーする

→ e-マニュアル > コピー

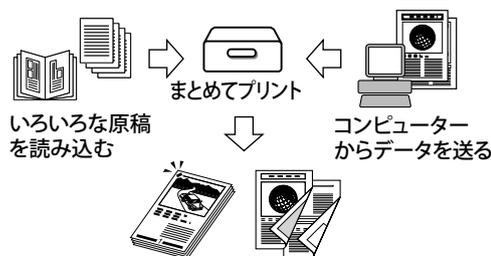
従来のコピー機能に加え、ミスコピーを防止する「試しコピー」、複数枚の原稿を小冊子になるようにコピーする「製本」、異なるサイズの原稿を一度にセットしてコピーできる「原稿サイズ混載」など、さらに便利な機能で生産性を高めます。



スキャンしたデータを保存する、保存したデータをプリントする

→ e-マニュアル > スキャンして保存、保存ファイルの利用

スキャナー部から取り込んだ紙文書データやコンピューターで作成したデータを保存できます。保存されたデータは、必要なときにプリントしたり、別べつに保管されているデータやコンピューターで作成したデータとまとめてプリントすることもできます。



また、アドバンスドボックスの機能を使用すると、読み込んだ原稿にコンピューターでも利用可能なファイル形式 (PDF、JPEG、TIFF) を設定できます。

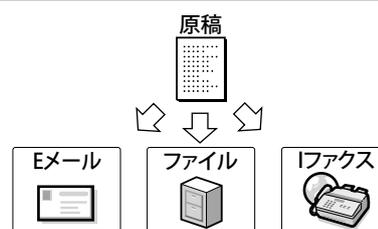
アドバンスドボックスは、SMB サーバーまたは WebDAV サーバーとして外部公開できます。コンピューターからアドバンスドボックスを参照し、アドバンスドボックス内のファイルをコンピューターへ保存したり、コンピューター内のファイルをアドバンスドボックスへ保存したりできます。

送信機能を活用する

→ e-マニュアル > スキャンして送信

スキャナー部で取り込んだ紙文書データをEメールやIファクスで送ったり、ファイルサーバーに保存したりできます。ファイル形式 (PDF、JPEG、TIFF、XPS) が指定できるので、受け取り側の環境にあわせて自由に設定できます。

スキャンソリューション機能拡張キットを有効にすることで、ファイル形式に Office Open XML(pptx) を追加できます。



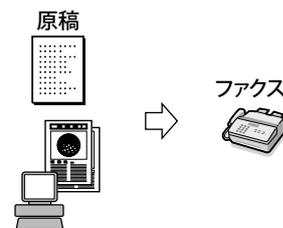
ファクスする *

→ e-マニュアル > 本体でのファクス送受信、受信トレイ

ファクス本来の機能の他、スーパー G3 にも対応しているので遠距離通信に威力を発揮し、従来のファクスに比べ、大幅な通信コストの削減も実現します。スキャナー部から読み込んだ原稿だけでなく、スキャンして保存したファイルやコンピューターのデータをファクスで送信できます。

複数の宛先への送信や、受信したファクスの転送も自在です。

また、リモートファクス送信機能を使用することで、同一ネットワーク内でファクス機能を共有できます。

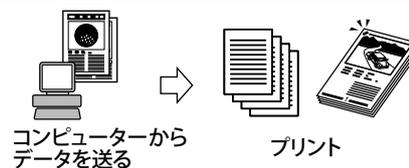


プリントする

→ e-マニュアル > プリント

プリントアウト時に両面印刷やページぞろえをしておける出力など、いろいろなアウトプットが可能です。

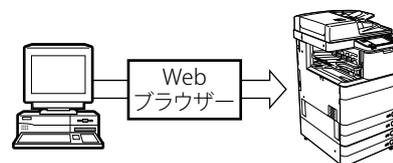
PS 拡張キット、imagePASS を装着することで、Adobe PostScript3 ソフトウェア搭載のポストスクリプトプリンターとしての利用が可能となります。



リモート UI を活用する

→ e-マニュアル > リモート UI

本製品の状態やジョブの操作、スキャンして保存したファイルのプリント指示などを、コンピューターの Web ブラウザーからコントロールできます。



MEAP を活用する

→ e-マニュアル > MEAP

本製品に組み込まれたアプリケーション・プラットフォーム、MEAP (Multifunctional Embedded Application Platform) に対応するアプリケーションをインストールすることにより、本製品に新たな機能を追加できます。

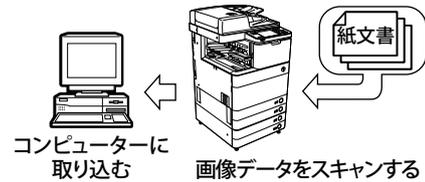


meap
POWERED BY

コンピューターに画像を取り込む

→ e-マニュアル > リモートスキャナー

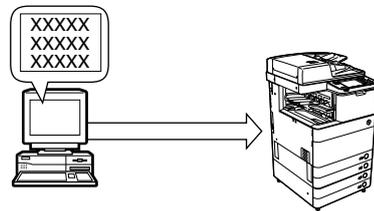
コンピューターに画像を取り込むことができます。本製品の原稿台を、最大 A3 サイズ 600dpi のスキャナーとして利用できます。



ユーティリティを活用する

→ e-マニュアル > ソフトウェア

ユーティリティソフトウェアを使用すると、ネットワークに接続されている本製品の各種設定をコンピューター上で行うことができます。設定や本製品の状態の確認、文書管理などができます。



お使いになるために必要な作業

お使いになる機能にあわせて行う、作業および設定の流れを説明しています。

最初にご確認ください

本製品の機能には、オプションや作業/設定が必要なものがあります。

ライセンス登録が必要なオプションを利用する場合には「ライセンス登録が必要なシステムオプションをお使いになるには」(→P.3-3)を、作業/設定が必要な場合には、本章の各フローチャートを参照してください。

 **メモ** ネットワークに接続するために必要なオプションについての詳細は、「第4章 ネットワークに接続する前に」を参照してください。

機能		必要なオプション	ライセンス登録	使用前の作業
コピー		なし	—	そのままで使用になります
スキャンして保存 保存ファイルの利用	ボックス	なし	—	そのままで使用になります
	アドバンスドボックス/ ネットワーク	なし	—	→アドバンスドボックスを使用する： 本ガイド P.11
	メモリーメディア	なし	—	そのままで使用になります ^{*3}
スキャンして送信	Eメール/Iファクス	なし	—	→Eメール/Iファクスを使用する： 本ガイド P.9
	ファイルサーバーへ送信	なし	—	→データをファイルサーバーへ送信 する：本ガイド P.10
ファクス送受信	本製品から送信	FAX ボード ^{*1}	不要	→本製品から直接ファクス送信する： 本ガイド P.11
	本製品で受信	FAX ボード ^{*1}	不要	そのままで使用になります
	コンピューターから本製品 経由で送信	FAX ボード ^{*1}	不要	→コンピューターから本製品経由で ファクス送信する：本ガイド P.12
	リモートファクスサーバー 機経由で送受信	リモート FAX 拡張 キット	要	→リモートファクスサーバー機を 経由してファクス送受信する：本 ガイド P.11
プリント		なし ^{*2}	—	→コンピューターから印刷する：本 ガイド P.13
リモート UI		なし	—	→コンピューターから本製品を管理 する：本ガイド P.15
MEAP		なし	—	→コンピューターから本製品を管理 する：本ガイド P.15
リモートスキャナー		なし	—	→本製品をスキャナーとして使用す る：本ガイド P.14

*1 Fモデルはスーパー G3FAX ボードが標準装備されています。

*2 LIPS V プリンター機能を使用する場合は LIPS V 拡張キット、PS プリンター機能を使用する場合は PS 拡張キットが必要になります。(ともにライセンス登録が必要)

*3 工場出荷時は、メモリーメディアの表示が「OFF」に設定されています。メモリーメディアを利用するには、環境設定 (設定/登録) の [表示設定] → [保存先の表示設定] でメモリーメディアを「ON」に設定してください。

本製品に管理者としてログインする

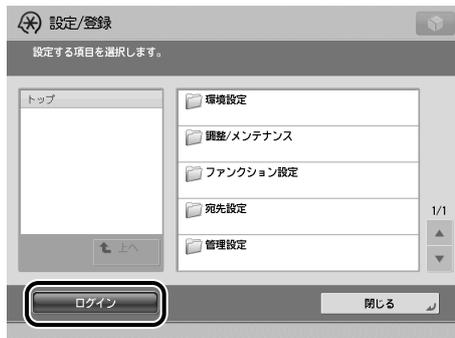
設定を行う前に、本製品に管理者としてログインする必要があります。

- 重要**
- 設定／登録画面での操作は、管理者ユーザーと一般ユーザーで異なります。
 - 管理者ユーザーの場合：
管理者ユーザーは、本製品のシステム全般に関する設定を行うことができます。本製品にはデフォルトでシステム管理者情報（システム管理部門ID／システム管理暗証番号）が設定されています。そのため、設定／登録画面で管理者ユーザーは、システム管理部門IDとシステム管理暗証番号を入力してログインする必要があります。システム管理部門IDとシステム管理暗証番号の初期値は、それぞれ「7654321」に設定されています。変更してご使用ください。（→e-マニュアル>設定／登録）管理者ユーザーのみが設定できる項目については、e-マニュアル>セキュリティを参照してください。
 - 一般ユーザーの場合：
設定／登録画面での操作が項目によっては制限されます。操作権限のない項目は、グレイアウトして選択できません。
- メモ** ここでは、工場出荷時の状態を前提にした手順を説明しています。部門別 ID 管理や SSO-H の認証を設定している場合は、それぞれのログインに必要な項目を入力してください。

1 (設定／登録) を押します。



2 [ログイン] を押します。



3 システム管理部門 ID とシステム暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。



操作終了後は、[ログアウト] または操作パネルのⓈ (ID キー) を押して、ログアウトします。

E メール／Iファクスを使用する

本製品で E メール／Iファクスを使用できるようにするには、以下の作業および設定を行います。

メモ 本機能を使用するために必要なシステム環境については、「E メール／Iファクスを使用する」(→ P.4-5) を参照してください。

1 本製品をネットワークに接続します。

→ネットワークに接続する：P.5-3
→インターフェイスの設定：P.5-9

2 TCP/IP ネットワークに合わせて設定します。

→TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業：P.6-2
→プロトコルの設定：P.6-3

3 E メール／Iファクスの設定をします。

→E メール／Iファクスの設定：P.6-24

データをファイルサーバーへ送信する

本製品からファイルサーバーへデータを送信できるようにするには、以下の作業および設定を行います。

-  **メモ**
- 本機能を使用するために必要なシステム環境については、「データを送信する」(→P.4-6)を参照してください。
 - 使用できるファイルサーバーは、お使いのネットワークによって異なります。使用できるファイルサーバーの詳細については、お使いのネットワークにあわせて、以下を参照してください。
 - TCP/IPネットワークをお使いの場合：ファイルサーバーの設定 (→P.6-27)
 - SMB/CIFSネットワークをお使いの場合：ファイルサーバーの設定 (→P.8-6)

1 本製品をネットワークに接続します。

→ネットワークに接続する：P.5-3
→インターフェイスの設定：P.5-9

2 お使いのネットワークの種類に合わせて、本製品を設定します。

TCP/IP ネットワークをお使いの場合

→TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業：P.6-2
→プロトコルの設定：P.6-3

SMB/CIFS ネットワークをお使いの場合

→SMB/CIFS ネットワークで使用するために必要な作業：P.8-2
→プロトコルの設定：P.8-3

3 ファイルサーバーを設定します。

FTP サーバーの場合

→FTP サーバーの設定方法：P.6-28

WebDAV サーバーの場合

→WebDAV サーバーの設定方法：P.6-35

Windows の共有フォルダーの場合 / Samba の共有フォルダーの場合

→ファイルサーバーの設定：P.8-6

アドバンスドボックスを使用する

アドバンスドボックスを使用するユーザーを管理したり、WebDAV または SMB で外部公開したりするには、以下の作業および設定を行います。

1 アドバンスドボックスを使用するユーザーの認証管理に必要な設定をします。

→アドバンスドボックスのユーザー管理：P.10-2

2 アドバンスドボックスを外部公開するために必要な設定をします。

→アドバンスドボックスの外部公開設定：P.10-5

本製品から直接ファクス送信する

本製品から直接ファクス送信をできるようにするには、以下の作業および設定を行います。

1 ファクス送信するために必要な設定を行います。

→ファクス送信の設定：P.11-2

リモートファクスサーバー機を経由してファクス送受信する

本製品からリモートファクスサーバー機を経由してファクスを送受信できるようにするには、以下の作業および設定を行います。

1 リモートファクス送受信するために必要な設定をします。

→リモートファクス送受信の設定：P.11-8

コンピューターから本製品経由でファクス送信する

コンピューターから本製品経由でファクス送信をできるようにするには、以下の作業および設定を行います。

 **メモ** 本機能を使用するために必要なシステム環境については、「コンピューターから印刷またはファクス送信する」(→ P.4-2)を参照してください。

1 本製品とコンピューターを接続します。

ネットワーク経由で接続する場合

→ネットワークに接続する：P.5-3

→インターフェイスの設定：P.5-9

→通信環境の設定：P.5-11

USB で接続する場合 *

→USB で接続する：P.5-5

*この場合は、接続後3へ進んでください。

2 お使いのネットワークの種類に合わせて、本製品を設定します。

TCP/IP ネットワークをお使いの場合

→TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業：P.6-2

→プロトコルの設定：P.6-3

NetWare ネットワークをお使いの場合

→NetWare ネットワークで使用するために必要な作業：P.7-2

→プロトコルの設定：P.7-3

SMB/CIFS ネットワークをお使いの場合

→SMB/CIFS ネットワークで使用するために必要な作業：P.8-2

→プロトコルの設定：P.8-3

AppleTalk ネットワークをお使いの場合

→AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業：P.9-2

→プロトコルの設定：P.9-3

3 お使いのコンピューターに、ファクスドライバーをインストールします。

→第13章 コンピューターからファクス送信する前に

4 ファクス送信するために必要な設定を行います。

→ファクス送信の設定：P.11-2

コンピューターから印刷する

コンピューターからのデータを本製品で印刷できるようにするには、以下の作業および設定を行います。

 **メモ** 本機能を使用するために必要なシステム環境については、「コンピューターから印刷またはファクス送信する」(→ P.4-2) を参照してください。

1 本製品とコンピューターを接続します。

ネットワーク経由で接続する場合

→ネットワークに接続する：P.5-3

→インターフェイスの設定：P.5-9

→通信環境の設定：P.5-11

USB で接続する場合 *

→USB で接続する：P.5-5

* この場合は、接続後 3 へ進んでください。

2 お使いのネットワークの種類に合わせて、本製品を設定します。

TCP/IP ネットワークをお使いの場合

→TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業：P.6-2

→プロトコルの設定：P.6-3

NetWare ネットワークをお使いの場合

→NetWare ネットワークで使用するために必要な作業：P.7-2

→プロトコルの設定：P.7-3

SMB/CIFS ネットワークをお使いの場合

→SMB/CIFS ネットワークで使用するために必要な作業：P.8-2

→プロトコルの設定：P.8-3

AppleTalk ネットワークをお使いの場合

→AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業：P.9-2

→プロトコルの設定：P.9-3

3 お使いのコンピューターに、プリンタードライバーをインストールします。

→第 12 章 コンピューターから印刷する前に

本製品をスキャナーとして使用する

本製品をスキャナーとして使用できるようにするには、以下の作業および設定を行います。

1 本製品をネットワークに接続します。

→ネットワークに接続する：P.5-3
→インターフェイスの設定：P.5-9

2 TCP/IP ネットワークに合わせて、本製品を設定します。

→TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業：P.6-2
→プロトコルの設定：P.6-3

3 本製品に接続したコンピューターに、スキャナー設定をするためのソフトウェア（Network ScanGear）をインストールします。

→第14章 リモートスキャンする前に

コンピューターから本製品を管理する

コンピューターから本製品を管理できるようにするには、以下の作業および設定を行います。

1 本製品をネットワークに接続します。

→ネットワークに接続する：P.5-3
→インターフェイスの設定：P.5-9

2 TCP/IP ネットワークに合わせて、本製品を設定します。

→TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業：P.6-2
→プロトコルの設定：P.6-3

3 コンピューターからの管理機能を有効にします。

リモート UI を有効にする場合

→リモート UI を使用するために必要なシステム環境：P.15-2
→リモート UI を起動する前に（準備）：P.15-3

MEAP 管理機能（SMS）を有効にする場合

→SMS を使用するために必要なシステム環境：P.15-5
→SMS を起動する前に（準備）：P.15-6



本書は本文に再生紙を
使用しています。
本書は揮発性有機化合物(VOC)
ゼロのインキを使用しています。

消耗品のご注文先

販売先

電話番号

担当部門

担当者

サービス担当者 連絡先

販売店

電話番号

担当部門

担当者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター (全国共通番号)

050-555-90056

[受付時間] <平日> 9:00~12:00、13:00~17:00
(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は03-5428-1287をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ:<http://canon.jp>

